

1 アミラーゼとは何ですか？

アミラーゼ（ジアスターゼとも呼ばれます）とは、膵臓や唾液腺が作り出す消化酵素で、デンプンやグリコーゲンを分解することで消化を助ける作用があります。ものを食べると、まず咀嚼（かみ砕くこと）で食べ物を細かくし、次に唾液中のアミラーゼによる第一段階の分解が行われ、胃を通過し膵臓から分泌されたアミラーゼと十二指腸付近で混ざり合い、さらなる分解が行われます。大根おろしを食べると胃がもたれないと言われますが、これは大根おろしに含まれるジアスターゼ（アミラーゼ）が食べ物の消化を助けてくれるからです。

2 アミラーゼが高いとどのようなことが考えられますか？

アミラーゼが高い場合は、唾液腺か膵臓のどちらかに変化がある可能性があります。また稀ではありますが、グロブリンというタンパク質がアミラーゼに結合してしまう体質の方（マクロアミラーゼ）では、数値が高くなりますが病気ではありません。唾液腺の病気では、耳下腺炎（おたふく等）や唾石症（唾液が固まりつまる）などが、膵臓の病気では急性膵炎（急激な腹痛）、慢性膵炎（検査での数値異常や腹痛の反復）、膵臓癌（腹痛・背部痛・体重減少など）などがあります。

専門医が教える 健診で受ける検査の意味 ⑫

アミラーゼの検査について



日本臨床検査専門医会
海渡 健

3 アミラーゼが高いときはどのような検査が必要ですか？

アミラーゼは唾液由来のもの（S型）と膵臓由来のもの（P型）とで構造が異なるため、アミラーゼアイソザイムや膵アミラーゼを測定することで、どこに由来するアミラーゼなのかを判断します。また、膵臓の場合は尿中のアミラーゼも測定し、急性膵炎では血清カルシウムや貧血の値も参考になります。膵臓癌が疑われる場合はCEAやCA19-9などの腫瘍マーカーが検査されますが、血液検査だけではなく、CT、MRI（MRCP）、超音波などの画像診断が威力を発揮します。



4 どの診療科に行けばいいですか？

アミラーゼが高い場合は膵臓に由来することが多いため、頬部（顔のほほの付近）に症状がなければ、まずは消化器内科の受診が必要です。頬部に違和感がある場合は耳鼻咽喉科での診療になります。消化器内科で問診を受け、採血、検尿、レントゲン検査などが行われます。お酒を多く飲まれる方や油ものを多く摂られる方は、食生活を改善することも重要ですので、受診前にまず食生活を振り返ってみてください。

